



ふるさと上越ネットワークたより

編集・発行 ふるさと上越ネットワーク事務局

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町 2-1-2

TEL.03-5244-5138 FAX.03-3294-6106

●本庁担当:上越市自治・市民環境部 共生まちづくり課

〒943-8601 新潟県上越市木田1-1-3

TEL.025-526-5111 (内線1406) FAX.025-526-6114

ホームページ⇒

ふるさと上越



あるるん村のだいこん干 撮影:小坂恵美 理事

「たより」No.266 目次	会員数とふるさと市場報告	1
	Jネットの活動とお知らせ	2
	とれたて上越	4
	・上越の行事・展示会の予定	
	レルヒ祭、灯の回廊	
	住もっさ上越!お仕事・移住相談会のお知らせ	
	・上越、旬の話題	
	謙信公騎馬像の設置・謙信公武道館	
	話題の書籍「<小説>親不知・子不知	
	—前島密・母子の絆—」下西英暢	
	なんでも上越	6
	・「高田本町百年商店街」誕生へ	
	・川柳募集のお知らせ(上越シルバーネット)	
	会員ひろば	7
	上越産品販売のお知らせ	8
	鯉橋師匠高座予定	8
	Jネットからのお知らせとお願い	8

※ホームページ「ふるさと上越ネットワーク」(2020年4月改定)では、「たより」をカラーでご覧いただけます。

会員数と「ふるさと市場」販売報告

(1) 会員は現在 601 名です。(令和2年度目標 610 名)

(2) 「ふるさと市場」(10月)の販売状況 合計 50件 ¥98,765 前年同月 61件 ¥181,332)

Jネットの活動とお知らせ

令和2年が通り過ぎていきます。

2月頃から拮がり始めた新型コロナウイルス感染症という暗雲に覆われた1年でした。日米でのトップ交替という年初に予想もしなかった大きな出来事もあったのですが、それらも霞んでしまうような重くのしかかる雲でした。

当会も、2月以降、活動が大きく制限されました。已む無きこととはいえ、年次総会や講演会をはじめ、上越での交流会、東京月例サロンや近畿・名古屋でのサロン、勉強会などが取り止め、もしくは延期せざるを得ず、加えて同窓会や郷友会、それに県人会までも軒並み休会となり、会員の皆様が集まる機会が全くない状態が続いています。

その分を補うべく、当会は、「たより」やホームページ（HP）の充実、上越製品の紹介・販売取次の拡大など上越応援の取り組みを一層、充実するように努めておりますが、十分とは言い難く、本格的な活動は、コロナ禍の落ち着きを待つ以外に手がありません。

そうした中、会員の皆様から、メールやお電話で、活動や「たより」などについてコメントやご感想、それに近況や会員消息などをたくさんいただきました。お元気なお声は何にも代えがたい宝物で、おおいに励まされております。

英米でワクチン接種も始まりましたが、まだまだ、先行きは不透明です。

新年こそは、コロナ禍も収まり、早く皆様と再会できますように、そして、上越や会員の皆様にとりまして佳い年となりますようにと、いつにも増して真剣に祈っております。

（伊藤利彦 記）

1. 12月の東京サロンは休会。

12月も東京サロンは休会します。

会員の皆様から、「お互いが永らくお会いしておらず、寂しいので自己リスクで集まれないか」とのお声やご要望もありますが、コロナ禍を巡る事情に鑑み、今しばらくの御辛抱をお願いいたします。

なお、今後のオンライン開催を含めてのサロン開催につきましては、「たより」やHPをご参照いただくか、あるいは事務局にてお問合せください。

2. 有志によるオンラインでの新年会 ※同封のチラシをご覧ください。

リアルなサロンは無理としても、オンラインにての新年会を次の要領にて、開催いたします。但し、会員全員がオンライン会合機能を有しているわけではありませんので、この新年会は、当会公式のものではなく、有志による新年会としました。

日時：令和3年2月11日（木） 15：00 - 17：00

内容：ZOOMを利用したオンライン会合。

近況、消息、ニュースなどの情報交換。一言発言の機会あり。

途中参加や中座も自由。飲食物も自由。参加者数：100名まで（ZOOM機能による）

但し、発言は同時複数発言ができず、1人に限定されるため、グループ分け（ブレイクアウト）をすることもありますので、お含みおきください。

参加方法：参加ご希望の方は、事務局宮里 (k.miyazato@araip.co.jp) までメールください。

本新年会のURLをお届けします。なお、皆様のメールアドレスの使用は、本件限定として、本件終了後は破棄いたします。



3. 当会「ふるさとカレンダー 2021」の祝・休日の訂正

「東京五輪の開・閉会式に合わせて祝日を移動する特別措置法」が本年 11 月 27 日に制定され、2021 年の祝・休日が確定しました。残念ながら、当会のふるさとカレンダー配布後のことでした。

そのため、お手数ですが、下記の通り、祝・休日の追加訂正をお願いいたします。

祝・休日の追加

2021 年 7 月 22 日 (木) 海の日

23 日 (金) スポーツの日 東京五輪開会式催行

8 月 9 日 (月) 山の日の振替休日 (山の日の 8 日は、東京五輪閉会式催行)

4. ホームページ (HP) が好評。会員は、上越タイムス電子版もご覧いただけます。

上越タイムス電子版 (会員限定) もご覧いただけます。

J ネットHP は、上越のカラフルで大きな写真、J ネットからのお知らせや「たより (カラー版)」、関連サイトへのリンクなどが見やすく好評です。

- ① 11 月からは、テキストでご覧いただく記事、ならびに紙面 PDF は共にカラー画像で表示されるようになりました。
- ② 会員の皆様には、下記にて、上越タイムス電子版もご覧いただけます。
会員メニューをクリックしてご覧ください。
会員閲覧用の ID およびパスワードは次の通りです。

- ① HP 右肩「J ネット会員の方 会員メニュー」をクリック
- ② 「ログインはこちら」をクリックし 上越タイムス社 HP へ
- ③ 下記の ID ・ PSW にて ログインしてください

≪※ 3 か月ごとに変更します≫

②

会員専用コンテンツ (要ログイン)

上越タイムス社様にご協力いただき、会員特典として「(電子版)上越タイムス」を無料にて購読できるようになりました。ふるさと上越の今がわかる旬なニュースを見逃さず毎日ご覧ください。

電子版

電子版をご覧になるには、こちらをクリック ▶ ログインはこちら

※※※ ログインID とパスワードは定期的に変更となります。最新のログインID とパスワードとを最新日 (ID ・パスワード利用開始日) は会員誌「たより」にてご案内いたします。ぜひご覧ください。

③

ログイン

E-メール

パスワード

ログイン

①

J ネット会員の方

会員メニュー

新規入会

1. 上越の行事・展示会の予定

(1) レルヒ祭 ー日本スキー発祥 110 周年

日本に初めてスキー術を伝えた、レルヒ少佐の遺徳を顕彰する「レルヒ祭」が開催されます。毎年2月に金谷山をメイン会場に開催されてきましたが、今回は、コロナ禍のため、オンラインを含めての開催です。

期間：2021年2月6日～7日

【6日】19:00～（予定） 花火の打ち上げ（市内の街中及びオンラインで観賞）

【7日】9:20～15:00 ウイルス感染対策を取った上での、上越市民に楽しんでいただくスノーアクティビティ

(2) 灯の回廊

安塚区・大島区・浦川原区・牧区・高士地区・名立区の沿道に約10万本の がともるイベントです。子どもからお年寄りまで、住民総出でキャンドルを作り上げます。冷たい雪が温かな世界に変わります。

今回は、詳細は検討中ですが、次の通り、開催の予定です。

開催日：2021年2月27日（土）。

沿道でのライトアップ、ならびに雪の茶屋を3ヶ所設営の予定です。

「幻の回廊（2018年撮影）」



(3) 住もっさ上越！お仕事・移住相談会のお知らせ

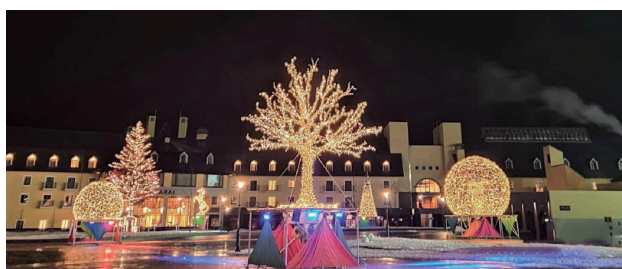
上越での暮らしの魅力や情報をお伝える「上越市お仕事&ふるさと暮らし相談セミナー」（住もっさ上越）は、毎年2月に「ふるさと回帰支援センター」（東京交通会館4F）にて開催されてきましたが、令和2年度は次のように開催されます。

日時：令和3年2月21日（日）開催形態：オンラインにて開催

主催：上越市自治・市民環境部地域振興課 TEL 025 - 526 - 5111（上越市役所）

詳細は、たより1月25日号に同封のチラシにてお知らせいたします。

ぜひとも、Uターンや地方移住を検討する皆さんにお伝えください。



「ロッテリゾートのライトアップ
2021年5月16日まで（写真は前回撮影）」

2. 上越の旬の話題

(1) 謙信公騎馬像の設置 — 謙信公武道館

謙信公武道館（県立武道館、上越市戸野目）は本年12月1日で開館1周年。同館では、その前日の11月30日、花角知事を迎えて、謙信公騎馬像の除幕式が行われました。

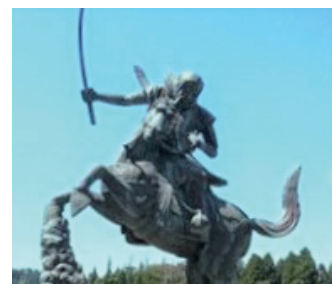
新像は、出陣する謙信公騎馬像で、太刀を高く掲げ、生気がみなぎり、武道館のシンボルに相応しい（花角知事）ものです。高さ4m、幅5mの大きな銅像で、作者は、彫刻家田畑功氏。地元の田中産業株式会社により寄贈されました。



謙信公武道館



謙信公武道館



上越市埋蔵文化センター



春日山城址

謙信公像は、上越市には、主なものだけでも4体ほど設置されています。春日山城址の像（昭和44年6月設置、滝川昆堂作）は揺るがない強い意思で城下とその先を見つめ、上越市埋蔵文化財センターの像（平成2年7月、南部祥雲作。平成22年リージョンプラザから移転）は川中島合戦最中の荒々しさと躍動感にあふれています。

上越妙高駅に設置された謙信公像（平成27年3月、峯田敏郎作）も川中島に出陣する騎馬像ですが、金兜を被り、知的で気品にあふれて未来に向かって踏み出していく姿です。それぞれに趣きがあり、謙信公像巡りも上越観光楽しみのひとつです。



上越妙高駅

(2) 話題の書籍 「〈小説〉親不知・子不知 —前島密・母子の絆—」 下西英暢

日本産業の父「渋澤栄一」をして、日本文明の一大恩人と称された、郷土の大偉人「前島密」について、郵便事業からの業績を語る書は多いが、その人生全体を著した書は意外と少ない。

本書は、上越高田から底力を発揮して日本の近代化を推し進めた前島密の生い立ちと故郷や母子の絆、誕生秘話、それに随所に逸話をも織り込んだ力作である。小説仕立てとしているが、「郷土の偉人 前島密翁を顕彰する会」（顕彰する会）の会員が長年にわたっての丹念に調べた調査研究を基に執筆されており、密翁ファンにはぜひとも揃えておきたい作品です。

作者の下西英暢（しもとり えいちょう）氏は、「顕彰する会」の創設者の一人。当会Jネットも平成30年4月の春の交流会において浄興寺見学にあたり、上越観光ボランティアガイドでもある同氏のご案内をいただき、大変お世話になりました。

本著の入手方法は下記の通りです。

頒布価格 1,000円 令和2年12月1日発行 A5判 198頁

購入の照会 TEL 025-524-5550 前島記念館 小説係

郵送による購入1冊あたり1,000円小為替と180円切手を下記に送付してください

〒943-0119 上越市下池部1317-1 前島記念館 小説係



今月は、お馬出しプロジェクトを主催する宮越紀祢子代表の登場です。

同プロジェクトは、本町と大手町が交差する辺りにあった「馬出（うまだし）」に由来するお馬出し通りを市民の手でアート通りにしたいとの願いで始まりました。2005年のことです。

その活動は、ストリートイベント、お馬出し塾、「城下町高田はお江戸でござる」、まち中回遊など枚挙にいとまありません。他にも、「あわゆき組」などとも連携し、雪国高田を全国発信しています。このプロジェクトをリードする宮越代表の情熱とアイデア、それに最近の活動を含めてのお話です。

同封のチラシ「百年商店街絵看板めぐり」も併せてご覧ください。

「高田本町百年商店街」誕生へ

お馬出しプロジェクト代表 宮越紀祢子（大杉屋惣兵衛お馬出し店）



宮越紀祢子代表

縁あって、京都から高田に嫁いできて50年が経ちました。

高田での暮らしは、新しい発見の連続でした。海の幸、山の幸に恵まれた食生活は豊かで、初めての食材に出会う度に心が躍りました。季節の移り変わりは美しく、人情深い歴史ある城下町。おまけに、日帰り温泉は近間にごろごろ、これ以上、何を望むことがありましょか。

でも、思いがけないことが起こるものですね。コロナ不況……、これから先は何が起こるかわかりません。齢を重ねる毎に、今、私たちに出来る範囲内でこのふるさとのまちを少しでも魅力的で活力のあるまちにして、子や孫たちにバトンタッチしてやりたいと思うようになりました。



気が付くと、様々なまちづくりの仕事に関わるようになっていました。特に、「お馬出しプロジェクト」の活動は15年に及び、地域の多くの方々と出会い、地域の魅力を知り、語りつくせない多くのことを、学ばせていただきました。

三年前に、「お馬出し界限てくてくマップ」を作成しました。出来上がったマップを見て驚きました。高田本町商店街には、創業年100～400年の老舗がまだ40軒も残っていました。

それぞれの老舗には、商家としての歴史、店主の思い、そこにしかないものがたりが、しっかりと残っているのです。でも、このまま放っておくと、全てが消えて無くなってしまいます。

これらの老舗の歴史やお宝を、まちの多くの人に知ってもらいたい。何らかの見える形にして、遠来のお客様にも、まちの魅力として楽しんでいただけるようなことが出来ないだろうか、色々考えている内に、「お江戸の絵看板」を思いつきました。

江戸時代には、ショウウィンドウなどはありませんでした。間口を広く開放した大店以外は、通りから見ただけでは、何を扱う店なのかわかりません。字が読めなかった町衆の為に、板切れに扱う商品の絵を描き、軒先に吊したのが、お江戸の絵看板の始まりのようです。

素人っぽいものから、デザイン性の優れたもの、とんちの効いたユニークなものなど色々あってとても面白いのです。

商店街活性化の事業として、2年前から、老舗の絵看板の制作を始めました。3年間で30基の絵看板が完成し、11月8日に、お披露目のセレモニーを開催したばかりです。

絵看板のあるお店には、老舗のお宝コーナーを設けました。更に、各老舗のオリジナル体験メニューや、名物づくりの開発にも取り組んでいますが、まだまだ不十分なことだらけです。

Jネット会員の皆様、是非、見にいらして下さい。ご意見、アドバイスなど頂き、一緒に育てていただきますよう、お願い申し上げます。

夢は全国発信!! 広報・宣伝の方も、よろしくお願い申し上げます。



絵看板披露の様子 2020.11.8

川柳などで投稿企画に楽しくご参加を

ー上越シルバーネット

故郷上越の日刊紙上越タイムスは、シルバー世代が元気を出せるようにと今年9月より「60歳からの情報交流紙 上越シルバーネット」を隔月でJネットのみなさんにもお届けしています。

Jネットの会員様からもご投稿をいただいています。次号（1月中旬発行）にもご投稿ください。

★締め切り 1月8日（金）

◎1月号のシルバー川柳の「お題」は・「初夢」「新年の決意」です。3句まで。自由作品も歓迎します。

◎「歳の数だけ言わせて」は・年功企画で「年齢分字数の自由投稿」です。「、」「。」も1字です。

応募方法★はがきに書いてお送り下さい。氏名は本名で（極力）※FAXや封書でも結構です。

★年齢・性別・住所（ご出身地も）・電話番号を忘れずに。※文字は楷書で。難しい字にはフリガナを。

宛て先

〒943-8585 新潟県上越市高土町2-4-6(株)上越タイムス社「上越シルバーネット」係

FAXでのお届けは：025-525-0061

★お問い合わせ先は(株)上越タイムス社 ☎025-525-6666

会員ひろば

直江津の思い出

上野邦治（直江津出身）

「ふるさと上越ネットワークたより」をいつも楽しく拝読させていただいています。

10月10日号の1面のグラビアを見てびっくり懐かしく思い出しました。

それと言うのも、直江津小路と題された写真のこの写真の右側の石塀のあるところが林覚寺で私の父の実家です。私はそこから、小・中学校へ通った思い出の坂道です。



直江津小路

街の旧名は、直江津町本砂山、直江津市沖見町でした。今は上越市中央4丁目。

本砂山といい沖見町といい住所表示が良いですね。名前の通りこの一帯は坂の多い町でした。

この写真の坂道の登り突きあたりは、共通の井戸場があり、いつもポンプで組み上げた水で野菜や米を洗ったり洗濯をする主婦で賑わっていました。井戸端会議という言葉を知ると、いつも思い出す光景です。

その井戸場を右に曲がると、300メートルほどで日本海の浜辺です。当時は、砂浜が渚まで50メートルもありいい海水浴場でした。家から赤禪で海に行ったものです。浜茶屋が夏になるとたくさん立ち並びました。今は渚まで10メートルもありません。茶屋は五智下へ行っていました。

また、井戸場を起点に左に曲がると車道が二段になっています。道の中央に段差があり、500メートルほど2本の車道になっているのです。それほど傾斜なんです。道を挟んで通称上町、下町と呼ばれてました（たぶん今も）。なかなか全国的にも珍しい風景です。上町には町立図書館がありました。「怪人二十面相」なんか借りてよんだのを覚えています。

さて、この坂道を下ると、直江津の銀座通りと呼ばれていた中島通に突き当たります。

当時はこの通りに銀座（東宝）劇場、日活劇場がありました。直江津にはこの他南小学校の近くに東映劇場がありましたが今は3軒ともなくなりました。裕次郎、旭、ひばりなど全盛時代、二、三本立ての時代でした。流行歌はほとんど映画音楽でした。「嵐を呼ぶ男」とか「ギターを抱いた渡鳥」とか。懐かしいですね。

ネットワークたよりの1枚の写真で、いろいろなこと思い出しました。写真を寄せてくださった松本栄規さんありがとうございました。

上越産品販売のお知らせ

- Jネットふるさと市場に「取次販売商品一覧」を同封します。

現行の各社パンフに加えて、取次販売商品一覧（A3版1枚）を同封にてお届けします。会員は送料無料で取り寄せができますので、どうぞご利用ください。

- 上越特産市場でキャンペーン（～12月末）

上越市は、上越農林水産物・特産品のネットショッピングモール「上越特産市場」を運営、キャンペーンとして9月9日～12月末まで割引キャンペーンを行っています。

「上越特産市場 <https://www.joetsu-tokusan.jp/login/input.php>」からお申込み下さい。

- 「新潟・上越妙高うまさ直送！雪国マルシェ」

恒例の上越特産品販売の「雪国マルシェ」は、下記にて予定しています。

日時 1月 23日（土）、同 24日（日）

会場 有楽町 交通会館1F。

開業時間 11：30 - 17：30

- 常設店舗 「雪国商店」

場所 有楽町交通会館1F。

営業時間 11：00 - 19：00

年中無休（年末年始12/31～1/2はお休み）

12/30、1/3の営業時間は、17：00までです。

☆お問い合わせ先：JCV 東京情報センター 03（5218）7730

瀧川鯉橋師匠 ◎出演予定◎

鯉橋：03-3845-1202

◇1/11（月・祝）

鯉橋独演会～鯉のつなわたり・その16～

時間：午後5時～7時（予定）。2000円。ほか詳細未定。

会場：お江戸日本橋亭（三越前）

◇1/18（月）グリーンホール八起寄席

時間：午後6時半～8時45分ごろ

木戸銭：1800円（シルバーなど各種割引有り）

出演：談修、鯉橋、兼好、文菊

会場：グリーンホール相模大野（相模大野）

お問合せ：042-749-2200（グリーンホール相模大野）

●●●●●●●●●● Jネットからのお知らせとお願い ●●●●●●●●●●

記事、寄稿、投稿、メッセージをお願いします。

Jネットは上越大好き人の集まりで、交流を通じて、上越を応援しています。その情報ツールが、「たより」やHPです。

会員の皆様には、ぜひとも、上越魅力、上越に役立つようなこと、会員の親睦を深めることなどなんでも結構ですので、記事（1200字程度まで）と写真を送信いただければ幸いです。皆さまの貴重なお話は、読む人を元気にします。

俳句、短歌も歓迎です。皆様からの作品は、たよりやHPを潤します。

送信先：k.miyazato@araipt.co.jp

東京事務局年末年始のお知らせ

令和2年12月29日～令和3年1月3日までお休みいたします。

本年もたいへんお世話になりました。

ご健康にご留意され、よいお年をお迎えください。



極楽橋 12/15 撮影：松本栄規さん

◎次号「たより」は令和3年1月25日の発行です。